

令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録

令和6年7月2日（火）15:00～16:30

令和6年度 委員の委嘱

開催要件の確認

出席者5名 三ツ堀 清志 八木 綾乃 加賀谷 育子 江森 克弘 佐藤 和彦
欠席者4名 遠藤 彰子 伊原 伸一郎 高野 靖彦 藤本 渉

(1) 開会の言葉（教頭）

(2) 自己紹介

(3) 校長より 資料の通り

- ・学校運営協議会 会長…藤本委員 副会長…佐藤校長 互選により選出
- ・学校評価部会および地域連携部会の構成員を決定
- ・学校教育計画およびグランドデザインの確認
- ・今年度の取組

(4) 各グループ報告

○管理グループ 防災関係に重点を置いて取組みたい。実際の場面に対応できるようにする。今年度は1年次を対象にDIGの研修を行う。
昨年度に引き続き老朽物品や不要物品の適切な処分を行っていく。会計処理に関しては事故のないように取組みたい。

○教務グループ 授業改善のため、前期6月、後期12月に授業テーマを統一した形での授業実践を行う。STEAM公開研究授業が1月に実施されるので、それを今年度の授業改善のまとめとしたい。また、例年行っている生徒による授業評価を実施し、今年度は教科ごとではなく科目ごとのフィードバックを検討している。

【質疑】

Q. 授業評価において、教員の特定はされるのか。

A. 昨年度までは教科ごとに行っている。教員個人にどう伝えるかは教科に任せている。

Q. 回収率はよいのか。

A. LHRにおいて、全科目一括で行っている。100%に近い割合で回収できている。

Q. 本会の出欠連絡がはがきだった。メールやフォームなどは検討しているか。

A. 今年度2回目は二次元バーコードでの出欠確認を行う予定。

○生活グループ 昨年相模原地区の幹事校として行った交通安全大会の発表を、委員の生徒が全校生徒に向けて行った。ただ、残念ながら現在も不注意等からの自転車の事故が発生している。昨年度より始まった「かながわ子どもサポートドック」で悩みのある生徒に対応している。また、校則を見直して衣替えを廃止し、状況に合わせて過ごしやすい服装となった。

【質疑】

Q. ジャージ登校を見かけるが。

- A. 土日はOKであるが平日の登下校は禁止している。服装指導は適宜行っているが、校外の状況を常に把握することは難しいと感じる。

Q. 中学校では精神疾患に起因する問題が増えているように思う。高校ではどうか。

- A. 増えている。音楽科・美術科に多い。他人との比較による悩みが多いのかもしれない。なお、神奈川県では長欠不登校等の生徒のため、今年度から通信制課程を有する県立高校との学校間連携により、36単位まで認める手立ても始まっている。

Q. ヘルメット等の着用の現状はどうか。

- A. 少しづつだが増えている。職員も多くが着用している。

○進路グループ 保護者対象進路説明会を実施。1年生の保護者の参加が非常に多かった。本人よりも保護者のほうが過熱している印象である。相変わらず4学科の進路がそれぞれのため、煩雑である。

【ご意見】

・どうしたらJAXAに入れるかという質問をよく受ける。自然科学系や宇宙に関連する分野の研究を行っている人材だけでなく、文系や専門学校などから幅広く、採用されている。このような現状がもっと伝わればと思っている。

○SIグループ 4学科の生徒が融合して活動する場面が多くある。体育祭は800名を超える保護者の来校があった。文化祭は一般公開を行う。委員の皆様もご来校いただき生徒の様子などを見ていただけたらと思う。今年度は花火の打ち上げを計画しており、関係各所や近隣と調整をしている。今年度も運動部・文化部ともに部活動の目覚ましい活躍がみられた。

【質疑】

Q. 体育祭を見学したい。また音楽科、美術科の保護者は少ないとあったが理由などはあるのか。

- A. 現状の来場数を考えると、一般開放は難しいのでご理解いただければと思う。音楽科、美術科に関しては、生徒は頑張って活動しているが生徒が主で活躍できる行事ではないと考えているのではないか。ただ現在はスポーツが得意でない生徒でも活躍できる種目を増やし、活躍する場を増やしている。

Q. 弥栄体操とはどのようなものか。お年寄りのかたにも公民館できたらなど考えている。

- A. 4学科の生徒が作ったラジオ体操の弥栄高校バージョン。外部へ広げていくことも検討したい。

○広報・連携グループ パンフレット紹介。今年度はホームページの充実をしていきたい。委員の方々もホームページをご覧になってご意見を頂ければありがたい。ホームページはレイアウトが自由にできない部分があるができる限り活用していきたい。また、学校要覧で年間行事予定を見ていただき、生徒の姿をぜひご覧いただければと思う。

○総務グループ 3月に魅力特色アンケートを実施。また、前年度に行事の精選を行った。精選は令和7年度を対象に行ったため、今年度は大きな変更はない。3月には卒業式があり、委員の皆様もご招待させていただきたい。3年生の卒業式の晴れ姿を是非ご覧ください。
今年度より奨学金の案内にマチコミメールでも案内したところ、申込みや問合せの数が明らかに増えた。今後も活用していく。
また、STEAM教育による教科横断の授業の実践を行っている。今年度が最終年度の3年目である。やえいノートによる活動の言語化、学習の深まりがみられると期待している。

【学校運営協議会委員の方から】

三ツ堀様

- ・相変わらずいろいろなことをやっていて忙しそうだ。
- ・高校に限らず自転車の交通事故が多い。大人がルールを守らないのを子どもが見ている。ヘルメットも大人がきちんと着用しなければならない。広い敷地なので防犯も大切だ。

江森様

- ・すばらしい教育活動を行っている。中学校でも保護者が安定しないと子どもも安定しないので、保護者も含めた見守りが必要になっているように感じる。また、子ども同士の人間関係づくりができない事例もある。自力でトラブルが解決できないなども課題である。中学校では成功体験、自己肯定感を意識した活動をしている。
- ・サッカーチームの活躍や応援団の卒業生の姿を見た。今後も連携を図っていきたい。

加賀谷様

- ・文化祭の熱量、完成度が高いと地域で評判である。楽しむだけでなく、学びを得るものがある。もっと様々な場面で交流を図ることができればと考えている。
- ・登下校時に自転車で大通りを猛スピードで走っている。この行為の危険性を意識させてもらいたい。ただ、相模原弥栄高校の生徒たちは朝、挨拶をしてくれている。

八木様

- ・CEMLAスクールでの活動内容について、そもそもどのようなものなのかな。
⇒地域で外国につながりのある生徒の学習支援を中心に行っている。相模原青陵高校から引き継いだ事業で主に相模女子大学の施設をお借りして行っている。
- ・JAXAで高校生を見たことがない。近くにあるのでぜひ来てほしい。連携、交流を図りたい。
- ・保護者が安定しないと子どもも安定しないように、先生方も元気でないと生徒に対応できない。お体に気を付けて今後も教育活動に取組んでいただけたらと思う。

(5) その他

- ・なし

(6) 閉会の言葉（教頭）

以上